

初期日本語指導のノウハウが詰まった！ 「ひまわり練習帳1」を 発行しました！

来日したばかりの児童生徒やその保護者への支援のため、横浜市では平成29年9月に「日本語支援拠点施設『ひまわり』」を開設し、「プレクラス（裏面参照）」で約1か月、週3日の集中的な日本語指導等を行っています。このたび、集中的な初期日本語指導のノウハウをまとめ、プレクラスでも使用している「ひまわり練習帳1」を発行しました。今後は、各学校での指導に活用していきます。



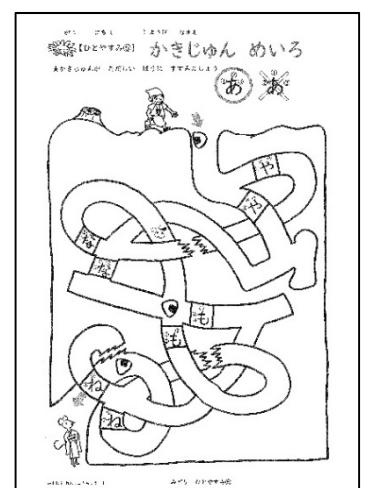
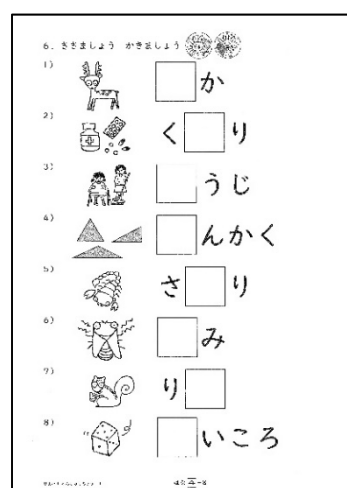
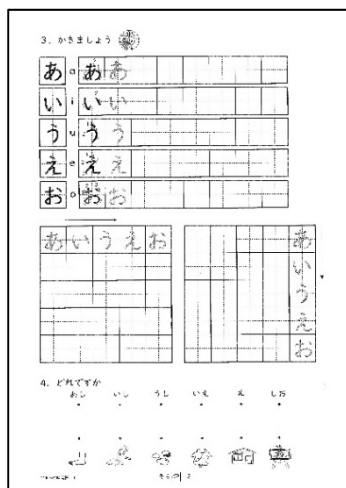
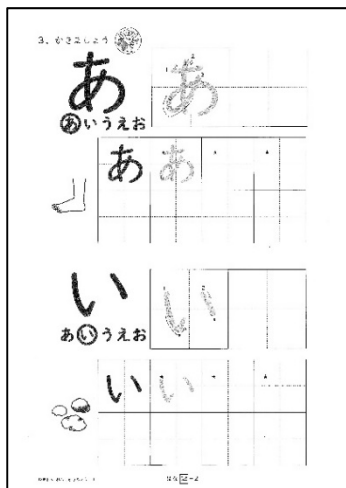
ポイント① 初期の日本語指導に最適！

- 1冊でひらがな清音※全てを学習できる！
 - 「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の全てに対応！
 - 子どもの学年に応じて文字の書くマス大きさを変更するなど、「小学校低学年」(A4版106頁)、「小学校高学年」(A4版88頁)、「中学校」(A4版64頁)の3冊を発行！
- ※「ば」や「ぱ」などの濁音、半濁音以外のひらがな



ポイント② 外国から来たばかりの子どもたちも使いやすい！

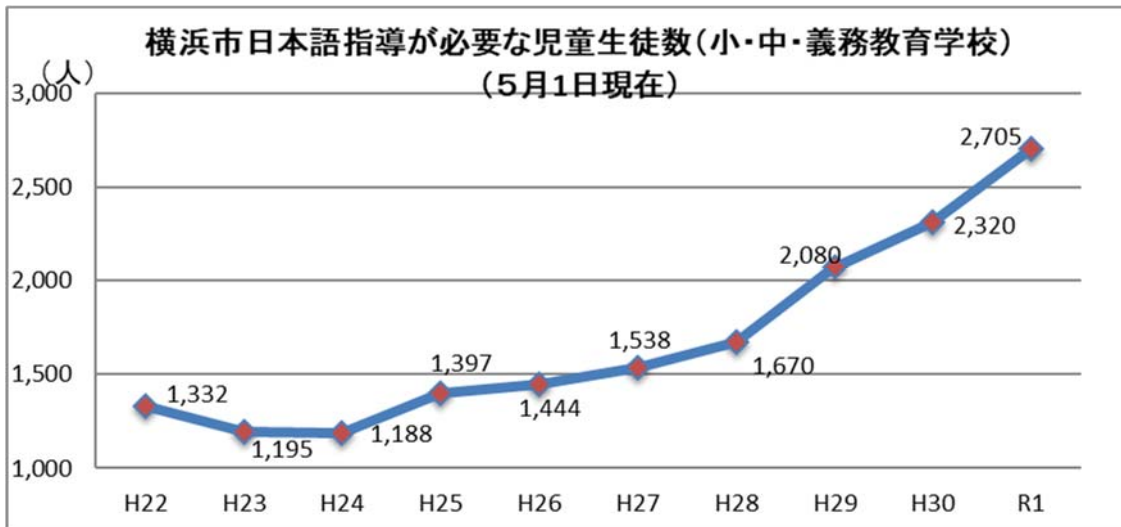
- イラストを多用することで、日本語がわからない子どもたちでも理解しやすい！
- 初めて触れる「縦書き」の指導もできる！
- 慣れない日本語の学習に疲れてきたときには「ひとやすみ」。



参考 1

横浜市の状況

日本語指導が必要な児童生徒は増加傾向にあり、10年間で約1,400人、2倍以上に増加しています。



参考 2

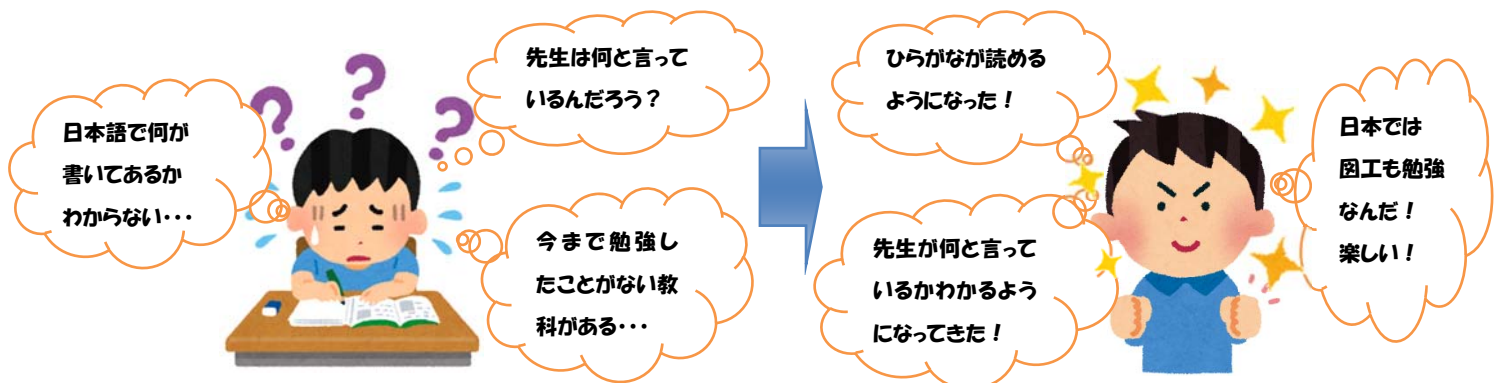
プレクラスとは…

(水曜・木曜・金曜実施)

外国から来たばかりの子ども達は日本語がわからないだけでなく、学校のルールや文化の違いなどに戸惑うことが多くあり、不安を感じています。靴を履きかえて校舎に入ること知らない、授業中トイレに行きたくなったときにどうすればいいかわからない、母国の学校にはない教科がある……

プレクラスはそんな子ども達が学校に入った最初の1か月、週3日通う学校です。日本語を集中して勉強したり、日本の学校生活を体験したりすることで、日本の学校に早く慣れることを目的としています。

子ども達は、小学校低学年、小学校高学年、中学校の3クラス(各クラス最大20名)に分かれ、日本語指導の専門家や小学校・中学校教員経験者からの指導を受けます。



「ひまわり練習帳1」の冊子データを希望される記者の方は、下記問合せ先へご連絡ください。

お問合せ先

教育委員会事務局 小中学校企画課日本語支援担当課長 出川 進 Tel 045-671-3202